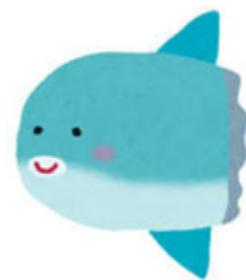


『気仙沼訪問リハビリステーション』 まんぼう通信

平成28年10月1日 No.24



皆さん、こんにちは。待ちに待った食欲の秋『さんまの美味しい季節』になりました。気仙沼に来るまで、さんまを刺身で食べたことがなかったスタッフ……。今年の秋は更においしいものを頂きにいきたいと張り切っております。さて、今回は訪問リハビリをご利用中の利用者様について、ご紹介させていただきます。

脳梗塞（重度麻痺）70代男性

病院で半年のリハビリを経て、自宅へ退院。
退院より2か月後に訪問リハビリを開始。

家庭環境 妻との2人暮らし。

家屋環境 急な坂や階段があり外出困難。

リハ目的 ベッド⇄車いす移乗：介助量軽減

今後の生活について このまま自宅で生活するのか、施設入所をするのか迷っていた。脳梗塞3回目：介護に対する不安があった。



現在（訪問リハ開始～4か月）

訪問リハ開始より

介入当初 ご本人：出来る事は自分でやりたい。奥様：起き上がりや車いすへの乗り降りの負担が少なくなればいい。

2か月後 自宅での生活を選択。長下肢装具を作製。『外出できない、ベッドで天井ばかりを見て過ごす』のではなく、窓際まで歩き、四季を感じる。介助歩行で血液循環の改善を図り、合併症を予防する。奥様とできる限り、自宅で生活する。

◇寝返り～起き上がり

リハ開始時 全介助

現在 見守り

◇食事動作

リハ開始時 ㊟手はお箸自立、㊦手は未使用

現在 ㊟手を使用する割合は多いが、㊦手スプーンの使用も増えた。（毎食汁物を食べる。）

出来る事が
増えて嬉しい。

お家で
頑張ろうね。

現在 ご本人：難しいと思うけれど、歩きたい!! 奥様：少しでも歩いて欲しい!! ポータブルトイレへの移乗が出来る様になって欲しい!!



タウメル装具

奥様・訪問リハ・訪問看護で協力し、立位練習や膝関節を伸ばす練習・装具療法を頑張っています!!

村岡医師を中心に在宅支援を目的とした多職種勉強会『KNOAH』へ参加しています。



関わっている職種：往診（医師）、ケアマネージャー、福祉用具

	月	火	水	木	金	土
AM	訪問看護	—	訪問看護	訪問入浴	訪問看護	—
PM	訪問リハ	—	訪問リハ	—	—	—

新規利用者様募集中です!!

一般財団法人訪問リハビリテーション振興財団
気仙沼訪問リハビリステーション
TEL:0226-25-8323 FAX:0226-25-8324